

渡良瀬川だより

No. 180

平成30年1月5日

国土交通省 渡良瀬川河川事務所

地域広報官

「渡良瀬川流域の皆様の安全・安心のために」

渡良瀬川河川事務所 所長 牛腸 宏



※田中橋（足利市）上空から渡良瀬川土流方向を望む

平成30年の新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年も様々な自然災害が日本列島を襲いました。まず渡良瀬川流域では、1月から6月の降雨が平年の66%と少なく、これによる渇水で、6月23日～8月7日までの46日間にわたり、10%の取水制限となりました。その後の降雨により草木ダム貯水量が回復し、大きな被害には至りませんでした。この間、水道や農業用水利用者の皆様には、節水のご協力をいただいたことに感謝を申し上げます。関東地方では他に、荒川や鬼怒川など広い範囲で渇水となり、10～20%の取水制限が行われました。

九州北部では7月の猛烈な豪雨で、大量の土砂と流木によって、死者・行方不明者41人、家屋の全・半壊2,300棟に及ぶ大災害が発生し、豪雨災害の恐ろしさと危機管理の重要性を改めて考えさせられました。また、関東地方には10月に2週続けて台風が接近し、当事務所では降雨や水位の状況を監視する体制で臨み、幸い大きな出水とはならず、胸をなでおろすことができました。

また、昨年は昭和22（1947）年のカスリーン台風襲来から70年の節目の年でした。

当時、渡良瀬川沿川では土砂崩れや濁流の氾濫によって、死者・行方不明者700人を超える過去最大の洪水被害となりました。当事務所ではこの災害を後世に伝えるため、桐生市民文化会館と足利市民プラザで、それぞれ被害に遭われた方の体験談や洪水時の備えについて講演会を開催したり、足利市渡良瀬グリーンプラザにある「せせら」で企画展を実施しました。その模様は新聞、テレビ等でも報道されました。

近年、気象現象は雨が降らずに渇水だったかと思うと、短時間豪雨に襲われたり台風が大型化して接近するなど、極端な雨の降り方が顕在化しており、気候変動の影響が危惧されています。

渡良瀬川ではカスリーン台風以降、大氾濫となるような洪水は来ていません。大洪水は頻繁に発生するわけではありませんが、各地の被害報道では「観測史上最大の大雨」や、「過去に経験をしたことのない大雨」などが聞かれます。

私たち渡良瀬川河川事務所では、このような稀れにしか発生しない大洪水が、今年発生するかもしれないと常に考えて、栃木、群馬両県と渡良瀬川沿川の市町とで「渡良瀬川大規模氾濫に関する減災対策協議会」を設立し、堤防の強化等のハード対策と、避難訓練や水防訓練等のソフト対策について、流域住民の皆さんと一体となって取り組んで行くことを考えています。

今年も渡良瀬川の安全・安心のために、職員一同努力してまいりますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げ、年頭の挨拶と致します。

足尾の山に また少し緑が増えました

～平成29年度 体験植樹 実施報告～

足尾砂防出張所では、主に小中学生を対象にして、地元NPO法人「足尾に緑を育てる会」と連携し、日光市足尾町松木地区での体験植樹を実施しています。

今年度の体験植樹は、5月15日（月）にスタートし、地元の日光市内をはじめ東京・埼玉・千葉などの関東各地から、多くの方にご参加いただき、10月20日（金）をもって無事終了しました。39団体、1,937名の方に、273本の苗木を植樹してもらいました。多くの皆様のご参加とご尽力により着実に足尾の山々に緑が増えています。この場を借りて、感謝申し上げます。

<体験植樹の流れ>

①オリエンテーション（30分程度）



1. 国土交通省職員からの挨拶



2. 紙芝居による足尾の歴史や砂防事業の説明



3. 植樹の作業手順の説明

②体験植樹（1時間程度）



1. 苗木を植える穴を掘ります



2. 土をかぶせます



3. 苗木を固定する杭を打ちます



4. 苗木を保護するネットを張ります



5. 植樹完了！



今年は、植樹の時によくキツネを見かけました。

～体験植樹にぜひご参加下さい～

体験植樹を通じて、実際に現地で「見て、聞いて、体験する」ことで、参加していただいた皆様に、砂防事業の役割や植樹の意義を、少しでもご理解いただければと考えています。

来年度の体験植樹への参加や質問等、お気軽にお問い合わせください。

【お問合せ先】 渡良瀬川河川事務所 足尾砂防出張所 (Tel: 0288-93-2151)

サケの受精卵を119組 計285名 に配布しました

「わたらせ 川のふれあい館 せせら」では、毎年サケの受精卵配布と稚魚の放流を行っていて、今年は12月3日（日）に受精卵の配布を行いました。（今回で13回目）

市内の企業や小中学校など15の団体を含む119組（大人167名、子供118名、計285名）の方に受精卵を配布しました。

ご家庭などで育てていただき、平成30年2月18日（日）に「せせら」前の渡良瀬川で一斉に放流する予定です。



「サケの稚魚一斉放流会」への参加申込みの受付は、平成30年2月2日（金）から行います。受精卵の配布を受けていない方でも、一斉放流会に参加できます。

詳細は「せせら」へお問い合わせ下さい。

電話 0284-44-3001（受付時間 火、水、金、土、日 10:30～16:00）

（担当：調査課）

せせら 企画展



を開催中です

「せせら」では、企画展「困った河原の仲間たち」を開催中です。

渡良瀬川の中には、たくさんの植物と生物が暮らしています。きれいに見える植物も、かわいらしい動物も、数が増えすぎると自然のバランスを崩したり、災害を引き起こす原因となることがあります。川にすむ困った仲間たちをゲームやパネルなどで楽しみながら学べますので、是非ご来館ください。 ※平成30年3月28日（水）まで開催

（担当 調査課）



射的ゲームで、外来種に当てよう!

わたらせ 川のふれあい館 せせらのご案内

所在地：栃木県足利市岩井町465-1 渡良瀬グリーンプラザ3階
TEL&FAX：0284-44-3001

開館時間
4～6月 及び 9～3月 平日・休日ともに 10：30～16：00
7・8月 平日・休日ともに 9：30～16：45

休館日
毎週 月・木曜日（祝日の場合は翌日）
※7・8月の休館は木曜日のみ
（12月29日～1月3日）

入館料：無料 駐車場：あり（無料）

電車でお越しの場合
JR両毛線 足利駅より徒歩20分
東武伊勢崎線 足利駅より徒歩25分

お車でお越しの場合
東北自動車道 佐野藤岡ICより約35分
北関東自動車道 足利ICより約15分



「平成29年度 工事安全施工研究発表会」を開催 ～ 最優秀賞を (株)浜屋組 田中 栄次さんが受賞 ～



発表のようす



発表された皆さまと審査員

建設工事現場における安全対策と安全施工技術のさらなる向上を目指して、12月14日(木)に「工事安全施工研究発表会」を開催しました。(平成11年度から実施、19回目)

当日は工事関係者ら約80名が出席し、対象26工事の中から推薦された工事において「安全対策」をキーワードに発表がありました。

発表工事のうち、(株)浜屋組の田中栄次さんが日光市足尾町での砂防工事現場での経験をもとに「法面作業における安全対策」を発表され、最優秀賞を受賞しました。現場は、斜度30度以上の急斜面で作業を行うため、安全対策として、パートナーと常に安全を確認しながら作業するスタイル「バディシステム」を採用し、材料の高所運搬では、運搬時にスピーカーから常に音を出して注意を促しながら作業を行い、また転落防止ネットに鈴をつけて異常を早期発見するなど、数々の安全対策の工夫を発表いただきました。

結果

最優秀賞	(株)浜屋組	田中 栄次さん
優秀賞	石川建設(株)	岩見 弘平さん
奨励賞	原工業(株)	石村 毅さん
//	沼田土建(株)	清水 友敏さん
//	石川建設(株)	堀江 祐多さん

(担当：工務課)



最優秀賞

(株)浜屋組
田中栄次さん



国土交通省関東地方整備局
渡良瀬川河川事務所



川の防災情報
リアルタイムの雨量と
水位を知りたい時は
<http://i.river.go.jp>

紙面についてのご意見や感想をお待ちしています。
パソコンからは渡良瀬川河川事務所ホームページの「お問い合わせ」から投稿していただけます。
電話・FAXは左記番号へ、郵便の場合は左記住所「渡良瀬川河川事務所地域広報官」あてでお願いします。



〒326-0822
栃木県足利市田中町661-3

<http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>
TEL：0284(73)5551
FAX：0284(73)8504